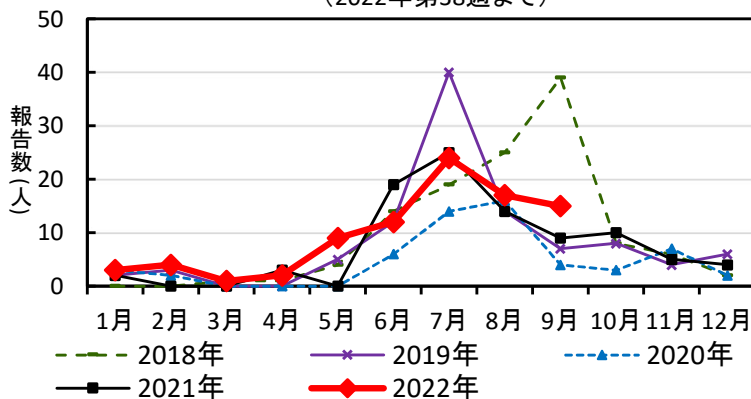


# 腸管出血性大腸菌感染症 の報告が続いています!

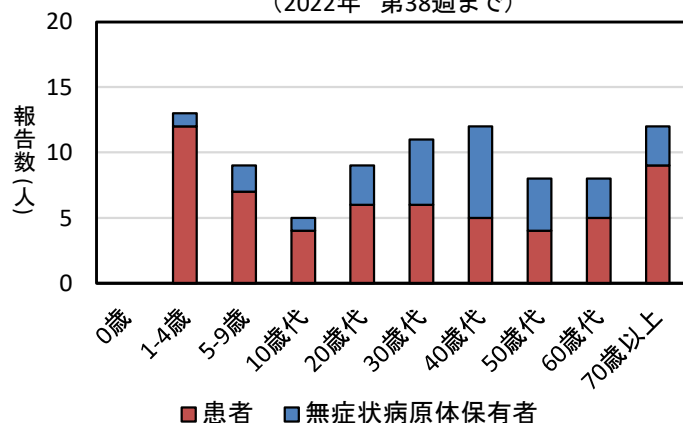
## ◆ 群馬県の流行状況

2022年は第38週までに87件の報告がありました。(昨年同時期: 72件)  
腸管出血性大腸菌による感染症は例年、**初夏から秋**にかけて多く報告されています。

腸管出血性大腸菌感染症 経年報告数  
(2022年第38週まで)



年齢群・診断別 報告数  
(2022年 第38週まで)



## ◆ どんな病気?

毒素を産生する腸管出血性大腸菌 (O157など) によって引き起こされる感染症。  
少ない菌量でも感染し発症するため、家族や集団生活の中で感染が拡大することがある。  
抵抗力の弱い**高齢者や乳幼児が感染すると、重症化することがある。**

- 感染経路: 経口感染 (汚染された食品、または患者の便を介して)
- 潜伏期間: 多くは3~5日
- 症状: 下痢、腹痛、血便、発熱 (無症状の場合もある。)

## ◆ 予防するには?

- 石けんと流水による**手洗い**を励行する。
- **生野菜はよく洗って**食べる。
- 肉の生食は避け、中心が白くなるまで**十分に加熱調理**して食べる。
- 箸やまな板などは、**生肉用と生肉以外用とで使い分ける。**
- 調理器具の**洗浄と消毒**をしっかり行う。



## ◆ 感染を広げないために

- 下痢や腹痛などの症状がある人は、**速やかに医療機関を受診**する。
- **入浴は家族と一緒にせず、最後に入る。**浴槽に入る時には石けんで体を洗ってから入る。入浴後は水を抜いて浴槽を洗う。
- 症状のある人の下着は、**塩素系漂白剤でつけ置き消毒**し、家族のものとは分けて洗濯する。洗濯後は、洗濯機のゴミ取りネットを忘れずに掃除する。
- **トイレやおむつ交換**のあとは必ず**手を洗う。**

★ 腸管出血性大腸菌感染症についての詳しい情報: <http://www.pref.gunma.jp/02/p07110049.html>



\* この情報に関するお問い合わせ先: 群馬県感染制御センター(群馬県衛生環境研究所)

TEL: 027-232-4881 E-mail: kansenseigyoc@pref.gunma.lg.jp